

SP 研究会(平成 27 年度 OSCE 反省会)



日時：平成 27 年 9 月 28 日（月）

16:00～16:35

場所：附属病院外来棟 5F ソレイユ

出席：信州 SP 研究会 20 名

多田医学教育センター長

森医学教育副センター長

黒川助教

清水助教

【本年度の変更点】

①実臨床に近づけるため、本年度から、附属病院の診察室を利用した

②7ブースから12ブースに増やし、試験時間を4時間30分から3時間15分に短縮した。

SP 会員からの意見

学生について

- ・ 例年よりも学生が優秀だと感じた。
- ・ 医療面接の時間を持て余すことが無く、時間配分も良くできていた。
- ・ 解釈モデルまで訊く学生が半分くらいいた。
- ・ 身だしなみと服装が良かった。
- ・ 「お名前をフルネームで」と問う学生がいて、学習していると感じた。
- ・ 悪評価を付けなければならない学生はいなかった。
- ・ 練習時なら SP も学生に注意しやすいので、来年は学生に少しアドバイスをしたい。
- ・ 隣室の受験者の声が聞こえることもなく、環境が良かったためか、学生も落ち着いて受験できていたように思う。

運営について

- ・ 試験時間が短くなり良かったが、拘束時間が短くなる分、開始時間を遅らせて、昼食後の開始にしてほしい。
- ・ SP の退室と学生退室の間隔が短かった。
- ・ 欠席学生だと知らされず、診察室前の椅子に座って待っていた時があった。
- ・ 電波が入りづらく、聞き取りにくい時があった。

来年度の検討点・改善点

- ・ SP 控室から診察室までが遠く、移動がスムーズでなかった。最北の精神の診療室を通路として利用して、SP の通路を確保し、泌尿器の診察室を1つ増やすことを検討する。
- ・ 控室の環境を良くする。
- ・ 試験開始時間を30分遅らせて昼食後の13:00からの開始とする。
- ・ 試験の組分け表をもう1回早く提示することにより、当日のペアで最終回の調整を行う。
- ・ 試験欠席学生がいる場合は、評価者だけでなく、SPにも伝えるようにする。
- ・ (連休中日の日程は参加しづらいの意見に対して)日程については考えたいが、附属病院を使用する都合上、致し方ないことであるが、検討事項としていきたい。
- ・ SP が退室してから学生が退室する間のアナウンスを15秒確保する。

以上